

令和２年度 学校教育に関するアンケート結果について

青森県立八戸高等支援学校

I 実施期間 令和２年１１月２７日（金）～令和２年１２月１１日（金）

II 回収率

全 体	95.3%	(226名／237名)
保護者	93.4%	(158名／169名)
教職員	100.0%	(68名／68名)

III 集計について

アンケートは、保護者に対して【学校教育に関する設問（２０）】、教職員に対して【学校経営に関する設問（２７）】、【教育指導に関する設問（３０）】を設定し、保護者は「わからない」を含めた５段階評価、教職員は４段階評価で実施しました。回収したアンケート結果は、別紙資料１及び２の通り設問毎に結果を集計し、自由記述については、項目分けし内容を要約した形で掲載しました。

IV 集計結果について

1 保護者による評価

（１）評価結果〈資料１－①、資料１－②「学校教育に関する保護者アンケート（集計結果）」参照〉

◆「そう思う」と「ややそう思う」を合わせ９０％以上の評価を得ている設問が、２０設問中１５設問（昨年度は９設問）でした。残りの５設問については、８０％以上でした。

＜９５％以上の評価＞

【設問 １：教育課程の分かりやすい説明】…９７％

【設問 ２：行事の設定】…９６％

【設問 ３：指導計画を活用した指導】…９６％

【設問１０：生徒の健康管理や安全】…９６％

【設問１８：諸会費の適正処理】…９７％

【設問２０：学校教育目標に向けた指導】…９６％

◆「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせて１０％以上となった設問は、今年度ありませんでした。

◆回答の中で、「わからない」が１０％以上あった設問は以下の３設問（昨年度は４設問）でした。

【設問 ５：適切な引き継ぎ、継続した教育】…１１％（昨年度１３％）

【設問 ７：ＩＣＴ機器の効果的な活用】…１２％（昨年度１３％）

【設問１１：いじめや問題行動の防止】…１１％（昨年度９％）

（２）保護者からの意見・感想等（自由記述欄より）

① 自由記述欄には様々な御意見、御要望を頂戴しました。その中からいくつかを紹介します。

ア 連絡や連携について（意見や要望の全体の８割を占めました）

- ・連絡帳やお知らせの方法や内容に関する意見や要望
 - ・保護者と学校、そして関係機関との連携についての要望
 - イ 生徒への指導について
 - ・生徒の実態に応じた指導の要望
 - ・指導経過の説明方法や内容についての要望（面談等についての要望含む）
 - ウ その他
 - ・授業見学に関わる要望
 - ・生徒の作品販売について、地域での販売の要望
 - ・アンケートの内容について、学校とのやりとりだけでは分からないという意見
- ※「入学して良かった」「特に不安や不満はありません」など、日頃の丁寧な対応への感謝のお言葉なども頂戴しました。
- ※上記の意見や要望事項については十分に検討し、学校経営に反映するよう努めて参ります。

（３）評価結果の考察及び改善点

- ◆「そう思う」と「ややそう思う」を合わせて８０％以上の評価が、２０設問中全設問であり、９０％以上も１５設問だったことから、開校４年目を迎え、総じて学校の教育活動について高い評価を得、保護者の皆様にも理解されていると考えます。次年度も地域に開かれた学校を目指し、一層の質的向上を図ります。
- ◆「あまり思わない」と「まったく思わない」の２つで、今年度１０％以上となった設問はありませんでしたが、「わからない」という回答を含めて１０％以上の回答があった設問が以下の６設問ありました。
 - 【設問 ４：医療・福祉等、関係機関との連携】…１３％
 - 【設問 ５：適切な引き継ぎ、継続した教育】…１４％
 - 【設問 ７：ＩＣＴ機器の効果的な活用】…１８％
 - 【設問 ９：生徒の不安や悩みへの対応】…１３％
 - 【設問１１：いじめや問題行動の防止】…１４％
 - 【設問１９：ＰＴＡ活動の充実】…１０％

今後の重点的な課題として位置付け、さらに改善を図っていきます。

- ◆「わからない」の回答が１０％以上あった【設問５：適切な引き継ぎ、継続した教育】【設問７：ＩＣＴ機器の効果的な活用】については、昨年度に引き続き「分からない」が多い項目です。また【設問１１：いじめや問題行動の防止】は、今年度新たに「わからない」が多い傾向が見られた項目となりました。
 - ・【適切な引き継ぎ、継続した教育】については、新入生の場合は、入学前に中学校あるいは中学部と引き継ぎを行っております。２、３年生については個別の指導計画や個別の教育支援計画を引き継ぎのツールとして活用しているところです。来年度は、この項目については、「出身中学や前年度の学年からの」という文言を項目に入れるようにし、分かりやすくしたいと思います。
 - ・【ＩＣＴ機器の効果的な活用】については、来年度からＧＩＧＡスクール構想によるＩＣＴ機器の整備の充実も図られ、授業での活用機会も多くなる予定です。今後も実態に応じたＩＣＴ機器等の教材教具の工夫や活用状況については、保護者に丁寧な説明や情報発信を進めていく予定です。
 - ・【いじめや問題行動の防止】については、肯定的評価が昨年度から３％の低い伸

び率から、取組の情報発信が重要と考えられます。今年度は、生徒からの悩み相談のポストを職員室前へ設置し、またスクールカウンセラーを導入し、生徒や保護者、教員の相談体制を整備して対応してきました。今後は、これらの取組についての情報発信を進め、保護者や関係機関と連携しながら、より充実した問題行動の未然防止に取り組めるようにしていきます。

2 教職員による評価

(1) 評価結果〈資料2-①、2-②「学校教育に関する教職員アンケート（集計結果）」参照〉

◆「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせて90%以上の評価を得ている設問が57設問中52設問ありました。さらに、その52設問のうち18設問については100%になっています。90%に満たなかった設問は以下の5つでした。

【組織・運営の働き方改革】76%、【校内の整理整頓】89%、【教材教具の整備】84%、【性教育】89%、【学校図書】88%

(2) 教職員からの意見・改善点

①学校経営について

- ・業務内容や配置のバランス
- ・教材教具の管理、保管の徹底
- ・定時退勤日の設定方法の改善

②教育活動について

- ・音声言語の指示だけではない指導の工夫
- ・性の指導について、指導方法や内容の工夫
- ・読書に関する指導の充実

③その他

- ・教師間での情報共有のさらなる工夫

(3) 評価結果の考察及び改善点

◆「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせて90%以上の評価が57設問中52設問あり、学校の教育活動が概ね適切に行われていると考えられます。また、18設問で100%となっており、全設問のうちの3分の1は否定的な評価が全くないため、学校全体としてチームで取り組んでいるものと考えられます。

◆「よく出来ている」のみに着目すると30%未満の設問は、【効率的な教育活動】28%、【組織のバランス】24%、【働き方改革】19%、【校内の整理整頓】26%、【教材教具の整備】26%でした。【教育目標】については、教室内に学校教育目標（「将来の自立と社会参加に向けて、地域社会の中で活躍する生徒を育てる」）を掲示するようにし、日頃から意識しながら教育活動に取り組むことができたためか、昨年度より20%の上昇が見られました。【校内の整理整頓】については、教務部や保健部などと連携しながら組織的に対応し、教師一人一人の意識の向上に努めます。【性教育】については、生徒の実態に応じて指導内容や指導方法の工夫に努め、指導の充実に努めます。【学校図書】については、昨年度87%から今年度88%と僅かに上昇していますが、読書活動について今年度の活動をさらに推進していくための活動の工夫をして取り組んでまいります。

令和2年度 学校教育に関する保護者アンケート（集計結果）

■ そう思う ▢ ややそう思う ▨ あまり思わない ■ まったく思わない □ わからない

	質 問 項 目	評 価		そう思う	ややそう 思う	あまり思 わない	まったく 思わない	わから ない
		50%	80%					
1	学校は、教育課程（生徒の学習内容や日課表等）について、分かりやすく説明している。			65%	32%	3%	1%	0%
2	学校は、行事（体育祭や学校祭等）の内容や時期などを適切に設定している。			72%	24%	2%	0%	2%
3	学校は、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して指導することで、卒業後の自立に向けた生活する力を生徒に身に付けている。			73%	23%	2%	1%	2%
4	学校は、必要に応じて医療・福祉等の関係機関と連携し指導を行っている。			58%	28%	4%	1%	9%
5	学校は、前年度の指導について適切な引継ぎを行い、継続した教育を行っている。			65%	22%	3%	0%	11%
6	学校は、わかる・できる授業づくりや自分から進んで取り組む活動を工夫し、生徒が成就感や達成感を味わえる授業や活動を行っている。			67%	27%	3%	0%	4%
7	学校は、パソコンや実物投影機、DVD動画、プレゼンテーションソフト、タブレット端末等のICT機器を積極的に活用している。			58%	25%	5%	1%	12%
8	学校は、特別支援教育についての専門性のある知識や経験を生かした指導を行っている。			63%	28%	4%	0%	4%
9	学校は、生徒の不安や悩みなどに対し、適切に対応している。			58%	29%	5%	2%	6%
10	学校は、生徒の健康管理や安全に注意や配慮をしながら授業を行っている。			76%	20%	3%	1%	1%
11	学校は、いじめや問題行動等の未然防止や、早期発見・早期対応に努めている。			61%	25%	3%	0%	11%
12	学校は、授業参観等、生徒の学習活動を見学する機会を十分設定している。			68%	26%	3%	0%	3%
13	学校は、Webページでの情報発信や連絡帳、各種お知らせなどをとおして、生徒の活動の様子を分かりやすく伝えている。			68%	25%	2%	0%	4%
14	学校は、進路に関する情報など、保護者が必要とする情報を提供している。			62%	29%	4%	1%	4%
15	学校は、生徒の個人情報について、プライバシーを侵したり、不利益を与えないよう、その取り扱いに注意している。			73%	20%	1%	0%	5%
16	学校は、保護者の意見や要望等を受け止め、適切に対応している。			69%	24%	3%	0%	4%
17	学校は、事故防止に努め、非常災害時や事故発生時には、緊急連絡を活用するなどして速やかに対応している。			76%	18%	1%	0%	5%
18	学校は、諸会費などを適正に処理し、保護者に集金方法等の情報を分かりやすく伝えている。			76%	22%	2%	0%	1%
19	学校は、PTA活動の行事や委員会活動が充実するように協力している。			72%	18%	3%	0%	7%
20	学校は、将来を見据えた日常生活、また自立や社会参加へ向けて、生徒のニーズに応じた適切な指導を行っている。			72%	23%	2%	1%	2%

質 問 項 目		肯定的な割合 (そう思う+ややそう思う)			
		H29	H30	R1	R2
1	学校は、教育課程(生徒の学習内容や日課表等)について、分かりやすく説明している。	88%	89%	92%	97%
2	学校は、行事(体育祭や学校祭等)の内容や時期などを適切に設定している。	90%	94%	95%	96%
3	学校は、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して指導することで、卒業後の自立に向けた生活する力を生徒に身に付けている。	91%	86%	88%	96%
4	学校は、必要に応じて医療・福祉等の関係機関と連携し指導を行っている。	88%	74%	84%	86%
5	学校は、前年度の指導について適切な引継ぎを行い、継続した教育を行っている。	81%	81%	83%	87%
6	学校は、わかる・できる授業づくりや自分から進んで取り組む活動を工夫し、生徒が成就感や達成感を味わえる授業や活動を行っている。	88%	83%	87%	94%
7	学校は、パソコンや実物投影機、DVD動画、プレゼンテーションソフト、タブレット端末等のICT機器を積極的に活用している。	69%	71%	80%	83%
8	学校は、特別支援教育についての専門性のある知識や経験を生かした指導を行っている。	84%	84%	86%	91%
9	学校は、生徒の不安や悩みなどに対し、適切に対応している。	87%	84%	84%	87%
10	学校は、生徒の健康管理や安全に注意や配慮をしながら授業を行っている。	96%	94%	95%	96%
11	学校は、いじめや問題行動等の未然防止や、早期発見・早期対応に努めている。	90%	78%	83%	86%
12	学校は、授業参観等、生徒の学習活動を見学する機会を十分設定している。	89%	90%	90%	94%
13	学校は、Webページでの情報発信や連絡帳、各種お知らせなどをとおして、生徒の活動の様子を分かりやすく伝えている。	93%	89%	93%	93%
14	学校は、進路に関する情報など、保護者が必要とする情報を提供している。	79%	81%	87%	91%
15	学校は、生徒の個人情報について、プライバシーを侵したり、不利益を与えないよう、その取り扱いに注意している。	96%	93%	93%	93%
16	学校は、保護者の意見や要望等を受け止め、適切に対応している。	79%	81%	87%	93%
17	学校は、事故防止に努め、非常災害時や事故発生時には、緊急連絡を活用するなどして速やかに対応している。	94%	94%	93%	94%
18	学校は、諸会費などを適正に処理し、保護者に集金方法等の情報を分かりやすく伝えている。	93%	94%	96%	97%
19	学校は、PTA活動の行事や委員会活動が充実するように協力している。	87%	85%	87%	90%
20	学校は、将来を見据えた日常生活、また自立や社会参加へ向けて、生徒のニーズに応じた適切な指導を行っている。	—	—	—	95%

令和２年度 学校教育に関する教職員アンケート（集計結果）
（１）学校経営に関して

よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来ていない

項目		観 点	評 価		よくでき ている	大体でき ている	あまりで きていな い	できてい ない
			50%	80%				
教育目標	1	学校は、生徒や学校・地域の実態に応じた教育目標を設定している。			65%	35%	0%	0%
	2	教職員は、日々の教育活動の中で意識して取り組んでいる。			37%	60%	3%	0%
重点課題	3	職員間で共通理解され、達成に向けた取り組みを行っている。			38%	59%	3%	0%
組織運営	4	科・学年・コース間の連絡・調整が十分に図られ、効率的な教育活動を行っている。			28%	63%	9%	0%
	5	分掌組織は、年齢や経験等のバランスがとれ、適材・適所となっている。			24%	69%	6%	1%
	6	各委員会は適切に開催され、その機能を果たしている。			46%	54%	0%	0%
	7	教職員は、働き方改革を意識して業務改善に取り組み、超過勤務を減らす工夫をしながら負担軽減を図っている。			19%	57%	22%	1%
	8	教職員にとって、互いに相談しやすい職場環境となっている。			47%	44%	9%	0%
説明・公表	9	学校は、教育活動や進路情報等について、We b ページや通信等で情報提供している。			72%	28%	0%	0%
	10	学校は、授業参観等、生徒の学習活動を見学する機会を十分設定している。			65%	34%	1%	0%
	11	学校は、教育課程等について、その方針や計画を保護者に分かりやすく説明している。			46%	50%	4%	0%
情報・文書	12	学校は、生徒の個人情報について、適切な取り扱いをしている。			72%	28%	0%	0%
	13	文書作成・管理等について共通理解し、適切に行っている。			47%	46%	7%	0%
施設・設備 教材・教具	14	学校は、施設・設備について管理責任者を明確にし、定期的に点検している。			60%	38%	1%	0%
	15	教職員は、校内の整理整頓に努めている。			26%	62%	10%	1%
	16	学校は、教材・教具を整備し、適切に保管・管理している。			26%	57%	15%	1%
経理	17	学校・学級等の経理を適正に処理し、関係書類を適切に保管している。			72%	28%	0%	0%
研究・研修	18	教職員は、教育公務員としての専門性を高め、職責を遂行するため、積極的に校内外の研修に参加し、自己研鑽に努めている。			47%	50%	3%	0%
家庭・地域社会との連携	19	学校は、家庭・関係機関等との連携について積極的に取り組んでいる。			60%	38%	1%	0%
	20	学校は、地域への理解・啓発、地域資源の活用に積極的に取り組んでいる。			68%	31%	1%	0%
	21	学校は、保護者の意見や要望等を受け止め、適切に対応している。			63%	35%	1%	0%
	22	学校は、P T A 活動が円滑に進むよう支援している。			69%	29%	1%	0%
地域における特別支援教育のセンター的機能	23	学校は、研修会や巡回指導等をととして、地域における特別支援教育の充実に努めている。			59%	41%	0%	0%
教職員の姿勢・意識	24	教職員は、教育公務員として服務規律を遵守するよう意識的に取り組んでいる。			62%	38%	0%	0%
危機管理	25	学校は、非常災害等における対応マニュアルを作成し、教職員間で共通理解を図って対応をしている。			46%	50%	4%	0%
	26	教職員は、いじめへの対処方針や指導計画について共通理解し、日頃からいじめの早期発見や未然防止に取り組んでいる。			65%	35%	0%	0%
学校評価	27	学校は、教育目標や教育課程、達成状況等について整理し、学校の在り方や教育活動の改善のために活用するとともに、広く公開し共通理解を図っている。			54%	44%	1%	0%

令和２年度 学校教育に関する教職員アンケート（集計結果）
（２）教育指導に関して

よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来ていない

項目		観 点	評 価		よくでき ている	大体でき ている	あまりでき ていない	できていな い
			50%	80%				
教育課程	1	学校は、学校教育目標を踏まえ、計画的・組織的に検討した教育課程を編成し、評価・改善を行っている。			57%	43%	0%	0%
	2	学校は、生徒が主体的・積極的に活動できるように、学校行事の内容、時期等を設定している。			49%	51%	0%	0%
授業の充実	3	教職員は、わかる・できる授業を行い、生徒が成就感や達成感が得られるように努めている。			38%	60%	1%	0%
	4	教職員は、学習方法や教材教具の工夫に努め、生徒の興味・関心を生かした主体的・対話的な学習を行っている。			44%	51%	4%	0%
	5	教職員は、社会的・職業的自立に向けた生活力を育むため、体験的な学習の充実に努めている。			59%	41%	0%	0%
生徒指導、情報教育の充実	6	学校は、生徒や学校・地域の実態を踏まえた生徒指導計画を作成し、教職員が協力して指導できる体制を整備している。			44%	51%	4%	0%
	7	学校は、問題行動等の早期発見・早期対応、未然防止に努めている。			51%	49%	0%	0%
	8	学校は、校内教育支援会議を開催するなど、問題行動等に適切に対処している。			56%	44%	0%	0%
	9	学校は、生徒の特性に応じた情報処理のソフトウェアや補助具等を整理し、活用しやすい環境づくりを行っている。			35%	59%	4%	1%
	10	学校は、情報発信に伴う責任など、情報モラルについて指導を行っている。			51%	46%	3%	0%
教員の専門性の向上	11	教職員は、生徒の発達段階や障害等の把握に努め、指導に生かしている。			46%	49%	6%	0%
	12	教職員は、生徒の実態に合わせた教材・教具を積極的に作成したり、活用したりしている。			43%	51%	6%	0%
	13	教職員は、ICT機器等を効果的に活用している。			44%	53%	1%	1%
キャリア教育の充実	14	学校は、キャリア教育全体計画に基づき、生徒の能力、適性等の発見に努めながら、学校全体で指導に当たっている。			43%	53%	3%	1%
	15	学校は、進路指導に関わる相談、情報・資料等の提供を積極的に進めるとともに、個人面談等をおして保護者との連携を深めることに努めている。			66%	34%	0%	0%
	16	学校は、生徒及び保護者の希望や意向を反映した個に応じた進路指導を計画・実践している。			59%	41%	0%	0%
個別の指導計画等の活用	17	学校は、生徒の実態に応じた諸計画の様式・内容及び指導内容表の検討・改善を図っている。			53%	47%	0%	0%
	18	学校は、指導の継続性を意識した「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して指導することで、卒業後の自立に向けた生活する力を生徒に身に付けている。			49%	50%	1%	0%
特別活動	19	学校は、各活動をととして人間関係を深めたり、学校生活をより良くしようとする意欲を高めたりするなどの活動や支援をしている。			60%	38%	1%	0%
自立活動	20	学校は、生徒が自他の理解を深め、対人関係を円滑にするためのコミュニケーション能力や社会性の育成に努めている。			54%	43%	3%	0%
	21	学校は、集団の中で、周りの人を意識して活動したり協力したりできる力の育成に努めている。			57%	40%	1%	1%
道徳教育	22	学校は、道徳全体計画に基づき、各科・コースで実態に応じた取組を実施し、道徳的心情の育成を図っている。			34%	60%	6%	0%
総合的な学習の時間	23	学校は、総合的な学習の時間全体計画に基づき、科やコース等で連携を図りながら計画を検討し、組織的に実施している。			38%	56%	6%	0%
交流及び共同学習	24	学校は、教育課程に基づき、交流及び共同学習の意義やねらいを明確にし、生徒の実態に応じた内容を設定している。			40%	59%	1%	0%
体育・健康教育	25	学校は、学校保健計画、学校安全計画に基づき、生徒の実態に即した保健・安全管理や保健・安全教育を実施している。			51%	46%	1%	1%
	26	学校は、生徒たちの不安や悩みなどに対応している。			51%	49%	0%	0%
	27	学校は、生徒の個々の健康について把握し、けがや事故・病気等の対応を適切に行っている。			68%	32%	0%	0%
	28	学校は、性に関する指導について、生徒の発達段階や障害の状態に応じた指導を教育活動全体を通じて行っている。			38%	51%	10%	0%
	29	学校は、食に関する指導を、教育活動全体を通して適切に行っている。			37%	62%	1%	0%
学校図書	30	学校は、読書をする機会を意図的に設定するなど、読書活動の充実に努めている。			41%	47%	9%	3%